

第44回『山の都ふれあいコンサート』（2024）の詩集をお届けします

今年も詩を応募してくださった皆様が、それぞれに今思うことや感じたことを詩に書きとめ、それがこの1冊の詩集という形になりました。ひとつひとつの詩からは、それぞれの『想い』が伝わってきます。そして、皆様の『想い』が糧となり、今年の『山の都ふれあいコンサート』が創られていくのです。

この詩集に掲載された作品は作曲の対象となり、審査を経て選ばれた曲は、2024年（令和6年）11月17日（日）にYGC県民文化ホール（大ホール）で開催される第44回『山の都ふれあいコンサート』で発表される予定です。詩と曲が織りなすハーモニーとともに、これがきっかけとなって出会う人と人とのふれあいを大切にしながら、皆様とともにコンサートを成功させたいと実行委員一同考えております。ぜひ、この詩集の中の詩に、曲をつけてご応募ください。お待ちしております。

山の都ふれあいコンサート実行委員会

《曲募集について》この詩集に掲載されている詩に曲をつけて応募しませんか？

♪応募方法

下記のメールアドレスに以下の事項を記載、添付の上、送付をお願いいたします。

- ① 曲(MP3の形式で添付してください。郵送の場合はCD-Rにて送付してください。)
※総演奏時間は4分以内でお願いします。
- ② 作曲者情報(氏名・ペンネーム(使う場合)・郵便番号・住所・電話番号・メールアドレス・年齢・職業または学校名)
- ③ 歌詞(Word形式にて添付)
- ④ 楽譜(ある場合はPDFにて添付)
- ⑤ 採用された際の演奏について
 - ・ コンサート当日に演奏可能かどうか
 - ・ 演奏方法(バンド・弾き語り・カラオケ、etc…)

♪注意事項

- ・ 採用させていただく場合は、チラシ等に氏名を掲載いたします。(ペンネーム可)
- ・ **応募作品は返却いたしません。**(審査終了後、作詩者に送らせていただきます)
- ・ 応募いただいた曲の著作権は、山の都ふれあいコンサート実行委員会に帰属します。
- ・ 次ページの「コンサート当日までの流れ」をご確認ください。

♪締め切り 2024（令和6）年8月25日（日）

♪送付先 メール：info@furekon.net
 郵送：〒400-0858 甲府市相生2丁目2-17 甲府商工会議所会館3階
 一般社団法人甲府青年会議所内 山の都ふれあいコンサート実行委員会 宛

♪問い合わせ先 TEL：080-2055-1121
 MAIL：info@furekon.net（山の都ふれあいコンサート実行委員会）

♪ホームページ <http://furekon.net/>

コンサート当日までの流れ



詩に曲をつけて応募！

8月25日締め切り



曲選考

9月初旬予定



採用



不採用



本番用歌詞・舞台セット図・
プログラム原稿等のご提出



拡大実行委員会のご出席

- 作詞者・作曲者の顔合わせ
- 当日についての説明・打ち合わせ

10月14日（月・祝）
10：00～
（場所は確定次第ご案内）



前日・当日リハーサル
本番

11月16日（土）17日（日）
YCC県民文化ホール
（大ホール）



目 次

No.1	美しい花(松下藍香).....	4
No.2	走り続けて(清水仁美).....	5
No.3	ありがとう(清水仁美).....	6
No.4	ありがとう(坂本和輝).....	7
No.5	Happy な日常(坂本和輝).....	8
No.6	ときはめぐる(洲貝麻里).....	9
No.7	記憶(水上百合香).....	10
No.8	こどものころの小さな遊び(なが山房子).....	10
No.9	おまんのまんまで いいじゃんけ(藤巻滉登).....	11
No.10	あれもこれもアモーレ(藤巻滉登).....	12
No.11	大好きな人(廣瀬悦哉).....	13
No.12	母と王と男女双子な私(iRi6677).....	14. 15
No.13	ごきげん☆Sunshine(ゆみっぺ).....	16. 17
No.14	奇跡の時間(とき)の中で(岡部和美).....	18
No.15	なかまとともに(佐野久美子).....	19
No.16	おとのせかいへ(佐野久美子).....	20
No.17	きみとわらえば(佐野久美子).....	21
No.18	今の自分(佐野久美子).....	21
No.19	さんぽ(佐野久美子).....	22
No.20	みーことの出会いそしてわかれ(岩崎ひとみ).....	23
No.21	やさしいみっちゃん(岩崎ひとみ).....	24
No.22	よっつのきせつの中で~はるのうつろいのなかで~(岩崎ひとみ).....	25
No.23	まよなか いまぼくらのみらいうちゅう(岩崎ひとみ).....	26
No.24	君へのメッセージ(小野晴貴).....	27
No.25	あさ(川崎京子).....	28
No.26	お散歩中に感じる、春夏秋冬の山梨(Etsuko Shibata).....	28
No.27	未来への道(橋本英喜).....	29
No.28	姉への思い(麻川恵太).....	30
No.29	ゆずライム(宮崎祐太).....	31
No.30	小さないのち(飯田由佳).....	32
No.31	オレの願い(大坪正之).....	33
No.32	声は心のハーモニー(宍戸幽香里).....	33
No.33	母の思い出(宍戸幽香里).....	34
No.34	リアリティ(古屋幸希).....	35
No.35	Answer(古屋幸希).....	36
No.36	Evolution(Vocal Mix.)(古屋幸希).....	37
No.37	心にいるおばあちゃん(関紀代美).....	38
No.38	母ちゃん(坂本早百合).....	38

花は色々なところで出会う
入学 卒業 結婚 別れ
そこには いつも花がある
花から感じる みんなの想い

風が吹けば 揺れている
時が経てば 散りゆく花びら
桜 タンポポ スイートピー
喜び 悲しみ ありがとう 旅立ち

種をまこう 水をあげよう
太陽を浴びて輝きだす
花の香りを探しに出かけよう
私に微笑んでくれたあの花に

花は色々なところで出会う
入学 卒業 結婚 別れ
そこには いつも花がある
喜び 悲しみ ありがとう 旅立ち

時が経てば 散りゆく花びら
桜 タンポポ スイートピー
喜び 悲しみ ありがとう 旅立ち

種をまこう 水をあげよう
太陽を浴びて 輝きだす
花の香りを探しに出かけよう
私に微笑んでくれたあの花に

花は色々なところで出会う
入学 卒業 結婚 別れ
そこには いつも花がある
喜び 悲しみ ありがとう 旅立ち
喜び 悲しみ ありがとう 旅立ち

うまくいかないそんなこともあるよ
そりゃそうさ厳しいことから逃げたい
誰もが一度通る感情
自分だけだと思わないで
止まらないでいたら新しい自分が見えてくるから

さあ走り続けよう
たまには立ち止まることも必要
だけど歩みを止めなければ
やりたいは叶うから
前を向いていれば
新しい自分みつけれられる
だからもう走り続けよう
自分の未来を自分で切り拓いていこう

人を信じられないそんな日もある
だけど人はひとりでは生きていけないから
居場所をたくさん作ろう
見えなかったものが見えてくる
小さな光が大きな力に変わるから
さあ走り続けよう
たまには立ち止まることも必要
だけど歩みを止めなければ
やりたいは叶うから
前を向いていれば
新しい自分みつけれられる
だからもう走り続けよう
自分の未来を自分で切り拓いていこう

あの頃感じた
小さな不安は
あなたがいたから
のりこえられた
あの頃流した
悔しい涙も
あなたがいたから
笑顔になれた

ありがとうありがとう
いつもそばにいてくれて
ありがとうありがとう
見守っていてくれて
私は私らしく
歩いていくから
だからもう心配しないで
いつまでも忘れない

あの頃感じた
やりたいという気持ちを
あなたはいつも
背中を押してくれた
あの頃感じた
できるという自信は
あなたは一緒に
喜んでくれた

ありがとうありがとう
いつもそばにいてくれて
ありがとうありがとう
見守っていてくれて
私は私らしく
歩いていくから
だからもう心配しないで
いつまでも忘れない

No.4 ありがとう

坂本和輝

ありがとう いつもありがとう
困ったとき 助けてくれて 支えてくれて

ありがとう 今日もありがとう
一人で不安なとき 寄り添ってくれて

そばにいてくれて 安心するよ 温かいよ

ありがとう みんなありがとう
頑張ってること 応援してくれて 見ていてくれて

ありがとう 元気になるよ
みんなの声が 心に届くよ

笑顔を届けたい あなたに笑顔を みんなに笑顔を
元気を届けたい あなたに元気を みんなに元気を

ありがとう いつもありがとう
大好きだよ ずっと変わらず大好きだよ

No.5 Happy な日常

坂本和輝

みんなと会えなかった毎日 長かったね
みんなと歌えなかった毎日 我慢した
少しずつ 少しずつ 会えるようになったね
みんなでおしゃべり
歌ったり 踊ったり 最高さ

おいしいもの お腹いっぱい 食べたいな
みんなで食べよう
嬉しい おいしい 最高だ

寂しいことも 苦しいことも いっぱいあったけど
きっと乗り越えられる ここまで乗り越えてきた

楽しいこと 嬉しいこと たくさんあるといいな
夢は大きくね 希望をもっていこう

みんなで盛り上がろう 僕と盛り上がろう
Happy な日常
Oh イェーイ ロックンロール!

No.6 ときはめぐる

洲貝麻里

吸い込まれそうな 青い空の下
山の木も 歌う鳥も
響き合っていた

癒えない心の傷を 暖かな太陽が
雪をゆっくり溶かすように
いつか いつか きっと

春が来て 夏が来て 秋が来て 冬が来て
また春が来て 夏が来て 秋が来て 冬が来て
ときはめぐる

悲しみに暮れた夜も 優しい月の光が
心に届くように
いつか いつか きっと

春が来て 夏が来て 秋が来て 冬が来て
また春が来て 夏が来て 秋が来て 冬が来て
ときはめぐる
ときはめぐる

No.7 記憶

水上百合香

「次のピアノの発表会でバッハの曲を弾いてみませんか」
還暦過ぎた私に先生が言った
私の中で 50年間眠っていた記憶が
指に伝わって ピアノの鍵盤をスラスラと弾かせている
次々と呼び起こされていく記憶
不思議な感覚だ
「えっ何で こんな事あるの」
びっくりしたけど嬉しかった
こんな私でよかったんだ
私は私でいいんだ
でてこい でてこい 小さな私

No.8 こどものころの小さな遊び

なが山房子

わきあがる入道雲にわくわくし 背中を向けず家路をいそぐ
雨のなか垣根にさがすかたつむり のたのたと来て腕をさしだす
おひさまにじりじり背中を焼きながら 土(つち)ひんやりと蟻(アリ)とたわむる
裏庭(うらにわ)にビニールプールすずしくて おにぎり落とし大声で泣く
藤棚(ふじだな)にくまんばち来てぶんぶん 黒と黄色に立入禁止

おまんのまんまで いいじゃんけ
泣いちょし めげちょし くじけちょし
周りの目なんか気にしちょし

人と違って何がいけん
人と違っていいじゃんけ

おまんのまんまで いいじゃんけ
嫌なこんなん忘れちめえ
明日（あした）になりゃあ笑えるじゃん

人と違って何がいけん
人と違っていいじゃんけ

おまんのまんまで いいじゃんけ
恥ずかしがってちゃ損じゃんけ
言いたいやつには 言わせとけ

人と違って何がいけん
人と違っていいじゃんけ

おまんのまんまで いいじゃんけ
笑えし 歌えし 踏み出せし
好きなこんだけやってろし

人と違って何がいけん
人と違っていいじゃんけ

おまんのまんまで いいじゃんけ
おまんのまんまで いいじゃんけ

おまんのまんまで 生きてけし

あれもこれもアモーレ！
あれもこれもアモーレ！
大好き！

苦手な人参も
今日は食べちゃうのさ
不思議 不思議
口に放り込めば
たちまち アモーレ！

あれもこれもアモーレ！
あれもこれもアモーレ！
大好き！

嫌いな算数も
今日は解けちゃうのさ
不思議 不思議
教科書開けば
たちまち アモーレ！

あれもこれもアモーレ！
あれもこれもアモーレ！
大好き！

とべない跳び箱も
今日は飛べちゃうのさ
不思議 不思議
踏み台ジャンプ
たちまち アモーレ！

あれもこれもアモーレ！
あれもこれもアモーレ！
大好き！

No.11 大好きな人

廣瀬悦哉

春が来た 光る風
桃の花のつぼみ 桃いろ
スクランブル交差点 走る
初めて 好きになった人

夏が来た 薫る風
花は葉に 新緑の木立
駅からの 坂道は急
早く逢いたい 大好きな人

秋が来た 風立ちぬ
金木犀匂い 色づく葉
教会への道は まっすぐ
すこし冷たい 大好きな人

冬が来た 空っ風
落葉舞い落ち 実が真っ赤
堤防の道 人々が行き交う
忘れられない 大好きな人

去年は尋常性白斑とコロナとの戦いで詩を書きました。

今年は少し違います。

母と王貞治氏と男女双子の私の話。

身延町生まれの父、宮崎市育ちの母の間に私は産まれました。

両親の離別により、双子の妹は母と宮崎県へ。私は父と山梨県へ。

母は本当は私も宮崎県へ連れて行きたかった。

でも後から聞いた。

私は長男。父方の祖母に引き留められ、山梨県へ。

宮崎空港で父の寂しく去って行く背中が寂しく思えて、自分が山梨県行きを選んだのだとずっと思ってた。

でも違っていた。

母はどんな人にも強引で貪欲で強かった。

当時、読売ジャイアンツ監督王貞治氏と仲良くしてもらっていた。

王貞治氏も男女双子だったからか、凄く良くしてくれた記憶が残っている。

王貞治氏の双子の姉は一歳半でこの世を去っているため、世の中では認知されていない。

時は過ぎ、私にはフィリピン人の義母の子、妹が2人出来た。

双子の妹とは、母のお腹の中からずっと一緒にいきなり引き離されたから、産まれてきてくれて凄く嬉しかった。

実の双子の妹より、可愛く思えた。

また時は過ぎ、下の妹は隣町に嫁ぎ、私と真ん中の妹と2人きりの生活となった。

真ん中の妹は、中学時代、下校中、不幸なことがあり、引きこもってしまった。

その不幸なことを私は、変に笑ってしまい、父に大激怒され、トラウマになってしまい、真ん中の妹を守るため、沢山働いてきた。

でも違った。

妹ももう立派な大人。

私が居ない方がせいせいするようだ。

1人の方が気楽のようだ。

千葉にいる解体屋の代表取締役をしている同級生も、登記について妹たちと話してくれ、協力してくれた。

フィリピン人の義母が日本に帰って来るとのことで、下の妹が、登記に向けて動き始めてもくれた。

自分の頭だけ、成長しないでずっと時計の針が止まっていた。

しかしながら、兄妹それぞれが独立し、成長していけることを願ってる。

山梨県の家は逞しい妹2人に任せた。

2024年5月5日、三世帯合同でのホームパーティーのこと。幼馴染みにも白斑の事実が

あったことに衝撃を受け、白斑で苦しんでいる人間が身近にいてくれて心強くなって、気が楽になった。

白斑も身近にある病気だと、認知度が増して欲しい。

私は、母、義父、双子の妹親子、姪孫（てっそん）のいる宮崎県へ帰ります。

そして福岡ソフトバンクホークス名誉会長王貞治氏との再会へ。

山梨県の生活では最後、甲府ヨネクラボクシングジム仲田会長との出逢いで、元利用児との再会を果たし、人生が善い風向きに一気に変わっていった。

ボクシングの試合も見たこともない私が、まさかボクシングジムへ通うことになるとは夢にも思わなかった。

登記の問題でまた、山梨県に帰って来たら、またよろしく。

山梨県（現在）→宮崎県（未来）

ぼくからはじめる
ごきげんさん sun Sunshine
ごきげんさんじゃん最高じゃん
Happy Lovely Lucky Day
Yeah Oh Yeah

ねてもねなくても
夜が来て朝が来るね
同じ朝なら
ごきげんさんではじめよか
ありがと今日もよろしくね
いひひといたすら顔してさ
うーって口とからせてみて
えへへとも一度笑ってさ
おはようさんさん起きあがろ！

それだけできてりゃ
Happy happy moning
ごきげんさんさん Sunshine
ごきげんさんじゃん最高じゃん
Lovely Lovely Lucky Day ! Hey !

何かやってもやらなくても
朝が来て夜がくるね
同じ夜迎えるならさ
なんでもとびこめ Let's Try

あーよくがんばったよ Baby
意識向けるって新世界
うれしい気持ちあふれてさ
選んで決めれた進む道
おやすみ good night また明日
できてなくたって All Ok
good good
チャレンジできたじゃん

そんな 1 日最高じゃん

だーかーらー

目覚めた朝にや

ごきげんさん sun Sunshine

ごきげんさんじゃん最高じゃん

そんな 1 日すごすよ Baby

ごきげんさん sun Sunshine

みんなにひろがる Shiny Day

ごきげんさん sun Sunshine

ごきげんさんじゃん最高じゃん

Lovely Lovely Lucky Day

みんなの毎日 Happy Day

oh yeah

Happy Day

あなたに出逢って あなたといつも寄り添って
一番大事なのは『時間』って事に気が付いた
失った時間は 取り戻せないやり直せない
沢山の思い出が 二人の時代に流れる

1秒のすれ違いで 人生が変わる
この先ずっと続いてく 流れに身を委ね
意味のない時間などない
大切なのは今だから
本当に出会えて良かった 奇跡の時間（とき）の中で

日常の出会いの中で 人生は続く
先の事はわからない 流れに身をまかせ
悲しみを感じる時こそ 思いをリズムに乗せて
日々の感謝を届けよう 奇跡の時間（とき）の中で

限りある時間（とき）を大切に
あなたと過ごしていきたい
本当に出会えて良かった 奇跡の時間（とき）の中で

今日もなかまとともに おんがくをたのしみたい
月1回なかまとともに うたったりがっきえんそうがたのしい
一人一人みんなちがうけど みんなちがってみんないい
みんなでうたうと ころろがあたたかくなれる

なかまとともに がっきえんそう
おとがそろろうと きれいなメロディー
自分のところだけおとをだすのは むずかしいけど
なかまとやれば たのしさにかわる

大すきなせんせいたちにもあえるから ハッピー
いつもあたたかくみまもってくれる
フレンズやにじやピリリーブや
なかまがすきなうたを たくさんうたえるから大すき

なかまとともに うたうからたのしい
なかまのえがおがひろまり 大きなえがおになる
そして 力のなるよ

なかまのえがおは あすへのエネルギー
うたのさいごは みんなでおやつタイム
みんなでたべるとおいしいね
なかまとともにかつどうすると
あらたなはっけんもある
私はそんなあかるいなかまが 大すきなんだ

No.16 おとのせかいへ

佐野久美子

おとのせかいは たのしいせかい
みんなでいこう おとのせかいへ
一人ではない みんなちがっていいんだよ
自分らしく いきていきたい
さあ おとのせかいにでかけよう
おちこんだときは あかるいリズムでむかえてくれるよ

おとのせかいのとびらをあけよう
すてきなおんがくながれてくるよ
ちょっとつかれたときは
しずかなおんがくが ころをおちつかせてくれるよ
しぜんとからだがうごきだす
おんがくはすてきな力をもっている
おとのせかい おとのせかいはたのしいくにだよ
さあいっしょにうたおう

おとのせかいは いつもウキウキする
今日もたのしいおんがくながれているよ
たのしいおんがくをきくと
ころがあたたかくなるよ
さあみんなで おとのせかいへいこう
きっとたのしいことがまっているよ

No.17 きみとわらえば

佐野久美子

どんなにおちこんでいても
きみとわらえば たのしいきもちになる
きみは私に「えがお」をわけてくれたね
きみのえがおは みんなをあかるくしてくれる
だからきみとわらえば せかいがかわる

かなしくてないていても きみはわらわせてくれる
いつもたのしそうにわらう きみはすてきだよ
きみがわらえば えがおになれる
きみとわらえば 私もえがおになるよ
ステキなスマイル ひろがるよ

きみとわらえば たのしいじかん
みんなにしあわせ とどけたい
みんな大好き 大きなわらいごえ
ラララ きみとわらえば ラララ うたにのせてとどけよう

No.18 今の自分

佐野久美子

きこえづらくて イライラしてしまう
人とはなすのが「イヤ」
つたわらないことに なみだがあふれてくる
今の自分 今の自分はわからない なぜかしぜんとなみだがでてる

とつぜんきこえなくなり 私のせかいはかわってしまった
でも・・・ かなしいのは私だけではなく
みじかにいるお母さんが いつもしんばいしてくれる
でも・・・ きこえづらいかなしさは 自分にしかわからない

こころのもやもや どこにぶつけようかとかんがえる
今の自分にできることをがんばろう あせらずにたしかな一本
あきらめなくていい 今の自分しんじよう

No.19 さんぽ

佐野久美子

おひさまニコニコ いいてんき さあさんぽにいこうよ
おひさまポカポカ ころもポカポカ あたたかいよ
なかまといっしょに さんぽにいこう

みんなとこうえんいきたいな
こうえんで おひさまにあたりながら はなしをしたいね
今日もたのしく さんぽにいこう

みんなでいくと いろいろはっけんできるよね
はる なつ あき ふゆ きせつでかわるふうけいも
しぜんとかんじることができる

てんきがいいひは さんぽにいこう
たいようあびて げんきになる
みんなでさんぽにいこう

こうえんでひとやすみ
なかまといると ころも ポカポカになるよ
今日もなかまとさんぽにいこう

あなたのえがおと 私のえがお
ハッピースマイル
みんなでなかよく さんぽにいこう

「のらねこ みいこ」

ふっと春のあさの せいそうのあとに
ニャー・ニャー どこからか ねこの声
みっちゃん いまちょっときてくれ といわれて
イチョウラーメンのうらの 車のある ものおきごやの
ちゅうぼうのちいさなところから ひょっこりなきごえがして
おいでといったら でてきたら ひとつのいのち

かたにすがり かすみさんにわたして
さとおや さがしたけど
つぎに生まれるとき
みいこ みいこ
いいひとのところに 生まれておいで

ねことはなしたら ニャー・ニャーとないている
かいたかった こねこ
このいのちが
よいひとにとどけたいから
ララララ

いつもなにげなく やさしいみっちゃん
おりょうりに
いつもぴかぴか てきかくみっちゃん
おそうじだいすき きちようめんなみっちゃん
おしごとだいすき
ひとみ にゃんこにも みんなにも えがおで
ときにはへこんでも けしてぐれない なげださない
そして おべんとう せんたくに いろいろとしてくれる

ときには おこづかい
ときには びょういんにいってくれる
でんしゃにのって まつもとにいて
ときには かいてんずしにも すきやにも よしのやにも
つれていってくれたり
そんなみっちゃん
いつもありがとう
これからもよろしくね
だいすきだから
このまま このおもいを かなえてほしいから
ララララ

No.22 よっつのきせつの中で～はるのうつろいのなかで～

岩崎ひとみ

はるのうつろいの中
ひとしれず さくらははなが
やがて さくらがおわり
いつしか はなみずきが
キラ・キラ かがやくのが
はなびらは ちり

ははのひには
ピンクのカーネーション
なつには きいろのひまわりジュータン
なみのうちのおと キラリ・キラリ

あき こがらし おさないてのひら
もみじのまっかな てのひら かわいいな

ふゆ ゆぎだるま かまくら ふゆやすみ

しゅんかしゅうとう
ララララ

ふいに空を見あげたら ひこうきをみつけた
春の夜空の中に いったいどこへ どの国に行くのかな
ローソンの光に くるまのネオン
ひとのあしあと こねこの音も

とおくからは でんしゃのガタゴトンと なりひびく中に
これはきっと まつもとネ
しはつで おやすみなのかな

いつしか いつしか さくらも はかなく まいおちり
もうじき 夏がくることを しらせるように
ハナミズキ まいおちて もうひまわりが さく中で
こどものこえに おがわのせせらぎ あかとんぼ

きせつのなかで生きていくんだね
この しきって ふしぎだね

春がきて さくらさいて
にゅうがくしき そつきょうしきが ほいくえん

そんな中で
ぼくらの みんなが ひとつになって 生きるんだね
生きているんだ
このふしぎな うちゅうの まあるい まあるいなかに
ぼくらの みんなも みんなも いきている
いきていこう
ララララ

君のいない世界には 僕の影が映らない
君がいてくれる世界は 僕の影が現れる

暗闇の中にいた 僕を 君が手を差し伸べて
閉ざされた窓開け 光で 照らしてくれた

記憶に、君との出会い そこから、始まる物語
心から、溢れる気持ち この思い君に届けよう

走って走って君に 会って会って言おう
愛していると大好きを、心から全力で
走って走って君に 会って会って伝える
世界で1番君をずっとずっと愛してる

いつもそばにいてくれる 君の 心が暖かくて
凍り付いていた感情を 温もりで 溶かしてくれた

瞳に、映し出された 口から、こぼれた言葉
心から溢れる気持ち この思い君に届けよう

走って走って君に 会って会って言おう
愛していると大好きを、心から全力で
走って走って君に 会って会って伝える
世界で1番君をずっとずっと愛してる

I LOVE YOU I LOVE YOU WOW WOW WOW WOW
I LOVE YOU I LOVE YOU WOW WOW I LOVE YOU

走って走って君に 会って会って言おう
愛していると大好きを

走って走って君に 会って会って言おう
愛していると大好きを、心から全力で
走って走って君に 会って会って伝える
世界で1番君をずっとずっと愛してる
世界で1番愛してる I LOVE YOU I LOVE YOU

No.25 あさ

川崎京子

いつからだろう
早起きできるようになったのは
年齢を重ねたからかしら
それとも 朝焼けを見たいからかしら
周りの明るさから 窓ガラスを見ると
淡いピンク色に染まっている
外に出てみると あたり一面 ピンク オレンジ色
すごくきれいな色
一瞬で 色がどんどん変わっていく
朝焼けを見れた日は、きっと何かいいことがありそう
そんな予感がする 1日のはじまり

No.26 お散歩中に感じる、春夏秋冬の山梨

Etsuko Shibata

山のキャンパスに描かれる森の姿
春は若葉の黄緑色が少しずつ
夏は深い緑と空がイキイキと
秋は赤やオレンジに染まる
冬は葉が落ちて木や土の色へ
山梨の自然って愉快愉快

一步一步 踏みしめた道
時には険しく 時には優しく
続けることの 大切さ
小さな手を取り あゆみを進める

続けることは 希望を育てる
続けてきた意味 心に刻む
続く喜び 胸に抱いて
みんなで歩こう 未来への道

新たな世界に 飛び出して
子らの笑顔 輝く未来
続けて来たこと 花開く
学びの中で 夢が広がる

続けることは 希望を育てる
続けてきた意味 心に刻む
続く喜び 胸に抱いて
みんなで歩こう 未来への道

続けることで 絆が生まれ
温かい光が 未来を照らす
あなたの笑顔が 心をいやし
続く道 いいじゃん いいじゃん

続けることは 希望を育てる
続けてきた意味 心に刻む
続く喜び 胸に抱いて
みんなで歩こう 未来への道

姉と僕

小学校の時、同じ小学校で勉強しました。

ただ、姉は知的障害。

姉の振る舞いが恥ずかしくて恥ずかしく一緒にいるのが嫌でたまらなかった小学校。

周りのきょうだいと比べると何か違う姉、でも家に帰ると一緒にテレビ見たり、遊んだりする普通の姉。

中、高と姉は養護学校に進学。

寄宿舎に入って姉なりにたくさんのことを勉強してきたようで、週末家に帰ると学校の話がたくさんしたり。

兄弟ケンカをしては「姉はうまく言葉で言えないから、あなたは我慢してね」と家族のことは。ケンカしてもかならず弟が我慢。弟の自分もいろいろ言いたいこともあるけれど…障害があるから許されるのかなと考えることもありましたが、でも、出掛けた時はかならず、何かお土産を買ったりし合い仲良く過ごせました！

姉は作業所に行って、働くようになりました。

最初にもらったわずかな給料で買ってくれたジュース。とっても嬉しかったな。

僕は支援学校の教員として、働く今。

姉に関係ある先生方からお姉さん元気？と聞かれたあとに姉の学生時代の話しを、聞いています。

姉の頑張りを聞くことができとても自慢できる姉だと思いました。僕の仕事が辛い時も、姉の手紙「〇〇学校で、けいたくんはがんばっています」と姉なりのエールに勇気づけられます。

やっぱりいい姉です。

小さい時は嫌なこともあったけれど周りの人の理解もあって、姉と普通のきょうだいとして過ごせていることが1番幸せです！

今でも流れているリズム弾むゆずライム
この関係性は誰にも譲れない
甘酸っぱくてほんの少し苦い
忘れずにいたい
最高の記念日

あの子を誘ったのはクリスマスの次の日
窓の外が気になる待ち合わせのコンビニ
急ぎ足でゆれる軽く巻いた横髪に
あわせて踊るように
高鳴る胸の鼓動

たどり着いた喫茶店で一休みのコーヒー
そこで渡されたのは手作りのゆずジャム
願ってもない展開に止まる時間
胸に熱い火がつく
自分に気がつく

暗くなり始めた帰り道
小さなイルミネーションを見に寄り道
このまま隣に
いられたらいいのに
そんな願いをよそに
進んでいく時計の針

星に手が届きそうな夜空の下
ほんのりゆずの香りがしてた
なんだか心もゆず色に染まってく
映画のハンカチのような幸せの色

授かった小さないのち
大きさはまだ 爪くらい
これから大きく育てね
毎日毎日祈ってる

授かった小さないのち
お腹の中で動いてる
今は何をしてるかな
毎日毎日考える

授かった小さないのち
初めての抱っこ 忘れない
これから良いことたくさんあるよ
毎日毎日よろしくね

未来を生きる大事ないのち

No.31 オレの願い

大坪正之

俺には願いがある

それは、
温泉にゆっくりつかること
美味しいモンブランを食べること
家族と会って、話をする事
昔一緒に過ごした人たちに会うこと

何から叶えていこうかな・・・

No.32 声は心のハーモニー

穴戸幽香里

そっときかせて やさしいこえを
ポッポッポーと つぶやくように
ルンルンルンと 小さなこえで
タンタンタンと 手をたたこう

もっときかせて あなたのこえを
プッププーと 吹きだすように
ランランランと 大きなこえで
トントントンと あしならそう

なんにも ないとき ごちそうは
ときどき つくる ビーフン でした
なぜか いーつも ちがうあじー
きょうのおあじは どんなでしょう

ふーねが いきかう かいきょうは
うみの むこうに おもいを はせて
いって みたいな よそのくに
こころ はずませ ゆめをみる

かすかに みーえる しまのかげ
およめに いった 埔(ぶ)一里(り)のむーら
ゆたかに みーのる やまのさち
おいしい りょうりに みせられて

むーらの ひととの わかれの ひ
なみだに くーれて だーきーあった
たのしい ひーびは おもいでにー
いーまも しあわせ ゆめのなか

始まってゆくのに 退屈だと思う
染まる思い出は
何も通じない 構わない

きっと思い出してさ 何も関係なくてさ
落ち込んでる暇はない
だけど憶える つもりじゃない

なんだって欲しい 情報に皆無
いつだって なんだって 来る
そんな 風さえいれば 今夜遅くまで
何も通じなくてさ 朝が見えるはず
リアリティ

飛べるはずのない朝 着いたふりをしたまま
なにも求めず いつからか
いつも信じてた

片方しかない 冷たい言葉はいつも
憶えていること 時代が過ぎる
夜を越えるように 見えたこと

なんだって欲しい 情報に皆無
いつだって なんだって 来る
そんな 風さえいれば 今夜遅くまで
何も通じなくてさ 朝が見えるはず
リアリティ

なんだって欲しい 情報に皆無
いつだって なんだって 来る
そんな 風さえいれば 今夜遅くまで
何も通じなくてさ 朝が見えるはず
リアリティ

ララララ

移り変わるのは くだらないってことに
最後に従うのは 思い出して 繰り返してる 繰り返してる

どこかで 揺れていくように 青い紅まで
いつか青い 寄り添うの どこかで

赤く染まるのは 未来の朽ち果て どこかで
つまらない I know 感じてほしい

いつか青い紅 いつか瞬間が溢れ出して Wow
いつか赤い光 いつかこの町中にして Wowo
Answer

ララララ

時が過ぎるなんて いつか辿り着くなんて どこか
ありふれた あの朽ち果てまで 揺れていたから

また零れ落ちる 青い紅 あの模様のように
血はまた零れ落ちる ずっと 零れ落ちてゆく

3時まで いつか遠くめぐるように 連れていかれるように
I know 忘れないでいい

いつか青い紅 いつか瞬間が溢れ出して Wow
いつか赤い光 いつかこの町中にして Wowo
Answer

ララララ

ララララ

終わりのなき 人生になるのは
ありふれたなんて 信じられない
14番目には もうそこにはいない
だって 導かれるのは 一人だけ

この世界に漂うもの いつからか 何度目か
Evolution Lights 光に導かれる
いつか 儚い夢を見た いつからか もう少しだけ
Evolution Lights 光に漂うだけ

いつか ありふれたなんて 朽ち果てのないこの日常
Evolution Lights 光に漂うもの
いつか 青い光に 答えのない道を探す
Evolution Lights 光に漂って

この世界に漂うもの いつからか 何度目か
Evolution Lights 光に導かれる
いつか 儚い夢を見た いつからか もう少しだけ
Evolution Lights 光に漂うだけ

Evolution Lights

No.37 心にいるおばあちゃん

関紀代美

ここに出てきて
あたしに会いに来て
そしたらいっぱいおはなししたいな
おかしも一緒に食べたいな
ここに出てきて
あたしを抱きしめてほしいな
心にいるおばあちゃん
ずっと大好きだよ

No.38 母ちゃん

坂本早百合

母ちゃん
会いたいな
母ちゃんがいてくれたから 今の私がいる

生きていくのがつらい時も
さみしい時も 悲しい時も
がんばって生きていくよ

母ちゃん かわいがってくれたね。
母ちゃんに会えたら 一緒に話したいな
心から愛していること母ちゃんに伝えたい

生きていくよ
母ちゃんがくれた命だもん